

令和 7 年度
「運営に関する計画」

大阪市立大宮中学校
令和 7 年 4 月

大阪市立大宮中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では長年にわたり、人権教育を基盤とし、生徒が安心して学べる学校づくりを進めてきた。規範意識の向上や授業規律の定着を大切にし、「学びあい」「支えあい」「認めあい」のできる生徒集団の育成に取り組んでいる。

近年、学校選択制により、他校区への生徒の流出が加速化し、在籍生徒数が大きく減少している。他校区へ就学する生徒は学力上位層が多いと考えられるため、さまざまな学力調査等における平均正答率だけをみると、大阪市平均等と大きな隔たりがみられる。また、学級における学習をリードするモデル的な存在が少なく、協働的学習を充実させることが難しい状況にある。

生活指導面においては、不登校や別室登校の生徒など、個に応じた対応が求められる場面が多くなっている。一人一人へのきめ細やかな対応をするために、家庭との連携はもちろん、関係諸機関とも連携を進めつつ、課題解決へと向かっていきたい。

また、時間を守る、身だしなみを整えるといった、基本的生活習慣の確立に向けた指導を、生徒が自分たちで考えながら理解し、行動に移せるような方法で行っていかなければならない。

教職員は総じて日常の業務に熱心に取り組んでいる。一人一人の強みを生かすことができるチーム作りを進めるとともに、さらなる指導力向上をめざした研究・研修に取り組むことが必要である。

本校にはおおらかで人なつっこい生徒が多い。生徒が活躍できる場面、「できた」「わかった」と感じられる場面をたくさん作り、達成感を味わい、自信をつけさせていく教育活動を推進し、社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成をめざしたい。

令和 9 (2027) 年度に迎える創立 80 周年をめざし、一層地域との信頼関係を深め、生徒がいきいきと学び、教職員がいきいきと働く学校をめざしていく。

中期目標**【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】**

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 95% 以上にする。
R6 : 80.3%
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
R6 : 15.5% (12月末現在)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
R6 : 23.1% (12月末現在)

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。 R6 : 38.2%
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
R6 : 3年国語 85.0%、3年数学 74.5%
2年国語 99.8%、2年数学 85.0%
1年国語 87.0%、1年数学 78.5%
- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を 35%以上とする。 R6 : 28.6%
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 60%以上にする。 R6 : 52.2%

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 年度末の校内調査における「コンピュータなどの I C T 機器を使うことは学習の役に立つと思いますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 90%以上にする。 R6 : 91.1%
- 教員の 1 か月の平均時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにする。
R6 : 37 時間 46 分（1月末現在）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 80.3%
- 校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的回答回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 72.0%

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。 R6 : 38.2%
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 52.2%

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の 50%以上にする。 R6 : 0.7%
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる、教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を前年度と同水準以上にする。

R6 : 40.0%（1月末現在）

※基準 1 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない

1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えない

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式 2)

大阪市立大宮中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 80. 3%○ 校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 72. 0%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめ・不登校等への対応</p> <ul style="list-style-type: none">○ 家庭と連携して生徒理解を進め、生徒・保護者が安心できる学習環境を整える。○ SSWと連携して、家庭や関係諸機関との連携をとる。○ コネクトルームを、生徒が安心できる居場所としての活用することを前提としつつ、学級で過ごせるようにするためにも段階的に活用する。	
<p>指標 いじめの発生件数を 0 件にする。 R6 : 5 件</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>人権を尊重する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学年ごとに主となる学習内容を設定し、平和教育、その他の人権課題を 3 つの柱とし、3 年間を通した人権教育の充実に努める。○ 各学年での学習とともに、年 3 回の人権集会、自主活動、また日常の授業において人権感覚の育成を図る。	
<p>指標 校内調査における「生命や人権を尊重する意識を育てる取り組みがある」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。</p> <p>R6 : 96. 8%</p>	

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

「学びあい」「支えあい」「認めあい」ができる集団の育成

- 協働的な学びを推進し、生徒自身が楽しみや喜びを感じる教育活動の推進を図る。
- 生徒の自尊感情を高める言葉掛けを大切にし、自分も他者も大切にし、支えあう気持ちを育む。
- 互いを認めあい、ともに生きる力を育む学級づくりを進める。

指標 校内調査における「学校生活が楽しい」に対して肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。

R6 : 92.4%

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】

自主的・主体的な活動の充実

- 生徒議会や専門委員会、部活動の部長会議など、生徒主体の活動を活発に行い、リーダー育成に努める。
- 生徒専門委員会が活躍できる機会を増やせるよう、生徒会が主体となる学校行事運営をめざす。
- すべての生徒が自主性を伸ばせるような教育活動の推進を図る。

指標 校内調査における「委員会、係活動に積極的に取り組む」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。

R6 : 78.3%

取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】

キャリア教育・進路指導の充実

- カリキュラムマネジメントを行いながら、基礎的・汎用的能力の育成を図る。
- 体験的な活動の充実を図り、自己有用感、自己肯定感の育成をめざす。
- 生徒一人一人が、自分の将来の生き方への関心を深め、自分の能力・適性等の発見と伸長をめざし、夢や目標をもてる進路選択ができるよう指導を行う。

指標 校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。

R6 : 72.0%

取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】

インクルーシブ教育の充実

- 特別支援教育に関する校内研修を実施し、教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る。
- 教室等の環境整備を見直し、支援体制の充実を図る。
- 生徒の学習への意欲の向上や自信を持つことにつながるよう、スマールステップな指導内容、指導方法を工夫する。

指標 校内研修後に実施する調査において「今後の教育活動にいかすことができる」の項目に対して、肯定的回答をする教職員の割合を80%以上にする。

R6 : 未実施

取組内容⑦【基本的な方向2 豊かな心の育成】

自らの考えを深めることができる道徳教育の充実

- 年間計画に基づいた道徳の授業づくりを進め、指導力の向上をめざす。
- 道徳の授業において、意見交流の充実を図り、生徒一人一人の感性や情操を育むことをめざす。

指標 校内調査における「道徳の授業に積極的に取り組む」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を90%以上にする。 **R6 : 93.0%**

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立大宮中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 年度末の校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。 R6 : 38. 2%○ 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を前年度より増加させる。 R6 : 52. 2%	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容⑧【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の推進</p> <ul style="list-style-type: none">○ ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を積極的に行う。○ 相互授業参観を充実させ、指導方法の工夫を進める。○ 思考力・判断力・表現力等の総合的読解力の育成をめざす。 <hr/> <p>指標 校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R6 : 82. 2%</p>	進捗状況
<p>取組内容⑩【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 4 技能 5 領域の総合的な英語能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none">○ 他文化への興味・関心や英語力を高めるため、C-NET とのチーム・ティーチングを充実させる。○ 学習内容の理解度を高めるため、デジタル教科書などの ICT 機器を効果的に使用する。○ 授業にコミュニケーション活動を多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実践する。 <hr/> <p>指標 生徒アンケートで、「英語の授業に積極的に授業に取り組む」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度より増加させる。 R6 : 82. 2%</p>	

取組内容⑪【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

体力・運動能力向上に向けた取組の推進

- 基礎体力の向上を図り、各種目において興味・関心を高める。
- 保健体育の授業や体育的活動を通じて、自主的に課題解決に向けて意欲的に取り組めるように工夫する。

指標 校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を90%以上にする。

R6 : 77.7%

取組内容⑫【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

自らの健康を管理する能力の形成

- 生徒保健委員会の取組を計画的に実施し、活性化を図る。
- 生徒を主体とした学校保健委員会を開催する。
- 食育に関する指導を充実させる。

指標 校内調査における「食生活や健康に関する指導が行われている」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度より増加させる。 **R6 : 86.6%**

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立大宮中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標	達成状況		
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none">○ 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の 50% 以上にする。 R6 : 0.7%○ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる、教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を前年度と同水準以上にする。 R6 : 40.0% (1月末現在) ※基準 1 1か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない 1年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えない			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況		
取組内容⑬ 【基本的な方向 6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 I C T を活用した教育の推進 <ul style="list-style-type: none">○ 毎朝各学級で、朝の学活時に「心の天気」の入力をすることで、安心して過ごせる教室環境づくりを進める。○ I C T 機器を活用し、生徒の実態に応じた指導方法の工夫・改善を行い、基礎・基本の定着を図る。○ I C T に関する教職員研修を実施し、情報モラルの向上を図る。			
指標 校内調査における「I C T 機器の活用を通じて、基礎・基本の定着と学力向上に向けた取組をしている」に対して、肯定的回答をする教職員の割合を前年度と同水準にする。 R6 : 100%			
取組内容⑭ 【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none">○ 会議時間の短縮を図るため、事前の準備を大切にする。○ 様々な業務や対応が困難にならないように、報告・連絡・相談をしやすい職場環境の実現をめざす。○ 教育環境や校務分掌の精選を進め、業務の効率化を図る。			
指標 教員の 1 か月の平均時間外勤務時間を前年度より減少させる。 R6 : 37 時間 12 分 (2月末現在)			

取組内容⑯【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

教員の指導力向上、研修の充実

- 本校の教育目標の達成および課題解決につながる研修を開催する。
- 相互参観期間が活性化するように工夫する。
- 校外での研修会等に積極的に参加し、日々の実践に生かす。

指標 相互参観期間に参観を行う教員の割合を100%にする。 R6 : 100%

取組内容⑰【基本的な方向8 生涯学習の支援】

図書室・読書活動の活性化

- 学校司書と連携し、読書に触れる機会を増やす。
- 委員会活動の充実を図り、学級図書の充実や学習活動の充実をめざす。
- 掲示物を充実させ、図書室利用者の増加をめざす。

指標 図書室における2学期末までの1人当たりの貸出冊数を、前年度より増加させる。 R6 : 1.2冊

取組内容⑱【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

家庭・地域と連携した教育活動の推進

- 学校ホームページで定期的に学校の様子を発信する。
- 学校から発信する各種の通信物の内容充実に努める。
- 地域やPTAと連携した行事や活動の活性化と効率化を図る。

指標 校内調査における「学校行事などの具体的な活動をわかりやすく伝えてい
る」に対して、肯定的回答をする保護者の割合を前年度以上とする。

R6 : 89.6%

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点